

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和 3 年 2 月 1 日

事業所名:有限会社 ポラリス 翔石倉

サービス種類:放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に基づきサービス提供をしている	新施設になってから見学したことがない方が多数	基準を満たしているが、わからない方が多数おられるので、施設通信で写真をなどを発信していきたい
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づきサービス提供をしている	「はい」が63% 「わからない」が37%	基準を満たしている
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚支援を重点に写真、絵カードを使用している 入り口はスロープ設置している	「はい」 68% 「わからない」 32%	利用者が過ごしやすい空間にしていきたい わからない方が多数おられるので、施設通信で写真をなどを発信していきたい
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	洗面台、トイレには必ず石鹸を置き必ず手洗いをを行う。毎日の掃除後のアルコール消毒の実施	「はい」 59% 「わからない」 41%	利用者が過ごしやすい空間にしていきたい わからない方が多数おられるので、施設通信で情報などを発信していきたい
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	各施設長が集まり業務内容等を確認している		継続して実施していきたい
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月会議をおこなっている。現在は外部講師の研修はコロナ禍の為中止している		継続して実施していきたい
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時に保護者に聞き取りをし、相談支援事業所と連携し、スタッフ間でもこまめに話し合い計画を作成している		適切に分析し計画作成をし、支援していく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の活動等をしっかり見て会議をおこない、計画を作成している	「はい」 90%	学校や相談支援事業所と連携して作成していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	会議をおこない職員間で情報を共有し、記載している		モニタリングをしっかり行い支援計画に繋げていきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施できている。 季節に合ったプログラム等を取り入れている	「はい」 90%	計画に沿って支援できるよう努めていきます
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ間でこまめに話し合いプログラムを考えている		現状維持に努めます
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日、長期休暇の際は一つ一つのプログラムを長めに行い細かい支援も実施している	「はい」 95%	現状維持に努めます
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	日々のプログラムは変えているがコロナ禍の為屋内等の外出が難しくなりプログラムの幅は狭くなっている		利用者や保護者の意見も聞きながら工夫していきたい
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	プログラムや担当等は毎日決めて行っている		現状維持に努めます
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気付いたこと等を報告、連絡をするようにしている		現状維持に努めます
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録、業務日誌記入を実施している		現状維持に努めます
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に会議を実施し見直し等実施している		現状維持に努めます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者研修が担当者会議等に参加している		現状維持に努めます
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	各機関と連携している(学校、相談支援事業所等)		引き続き保護者、相談支援事業所と連携をとり支援していきたい
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	契約時に主治医の連絡先等の聞き取りをしている		引き続き保護者、相談支援事業所と連携をとり支援していきたい
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業の情報提供をしている		各学校と連携をして情報共有していきたい
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	提供している (生活介護事業を運営しているため)		引き続き情報共有していく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	相談支援事業との連携や、市や県が開催している研修を受講している		幅広い専門機関と連携していきたい。随時、専門的な研修の受講を促進していきたい
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	していない		必要に応じて活動できればいいと思う
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方の方に協力して頂き、野菜や果物を育てたり収穫などを行っている		今後も続けていきたい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	説明できている	「はい」 86%	今後も丁寧な説明が出来るようになっていきたい
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	説明している	「はい」 90%	継続して実施する
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談等があれば個々にアドバイス等行っているがトレーニングまでには至っていない	「いいえ」「わからない」が多数	必要に応じて対応していきたい
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時の受け渡し時や連絡帳で情報共有している	「はい」 90%	丁寧な説明を心がけたい
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談等があれば個々にアドバイス等行っている	「はい」 40%	保護者とのコミュニケーションを積極的に図り、適切な対応を心掛けたい
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状実施していない		必要に応じて検討したい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者が迅速に対応している	「はい」 59%	迅速で適切な対応が出来るよう努めたい
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	細心の配慮を行っている	「はい」 86%	今後も細心の注意をし配慮していきたい
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月保護者に向け新聞を作成し配布し情報を発信している	「はい」 81%	現状維持に努めたい
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	十分に注意している	「はい」 68%	現状維持に努めたい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し職員間で共有している	「はい」 36%	保護者には周知徹底されていないので周知していきたい
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的実施している	「はい」 36%	火事、地震等の避難訓練を実施しているが保護者に周知徹底されていないので周知していきたい
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部講師による研修を行っている。		定期的に研修を行いたい
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状はないが行う場合は必ず保護者の同意書を頂く		十分な説明をし必ず同意をもらうようにする
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	看護師が対応を徹底している		保護者からの情報を得て注意して対応する
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例があれば必ず作成しファイリング、情報共有している		現状維持に努めたい